

福島第一原子力発電所2号機使用済燃料プールにおける 放射性物質除去工程の完了について

福島第一原子力発電所2号機使用済燃料プールの構造材の中期的な腐食の進展・破損を抑制するため、塩分除去をすることとしておりますが、塩分除去に先立ち、平成23年11月6日から、放射性物質除去装置を用い、福島第一原子力発電所2号機の使用済燃料プールにおける、放射性物質の除去を実施してまいりました。

(除去する前の放射性物質濃度は10の5乗オーダー)

およそ1ヶ月間、放射性物質除去装置の運転を行ってきた結果、放射性物質濃度が10の2乗オーダー程度に低下したことが見込まれたことから、昨日(12月5日)、放射性物質除去装置を停止し、放射性物質除去工程を完了しました。なお、その後、使用済燃料プール水のサンプリングを行い、放射性物質濃度が10の2乗オーダーに低下したことを確認しております。

(当初の低減目標は10の2乗から3乗オーダー)

今後は、福島第一原子力発電所4号機使用済燃料プールで使用したものと同様の装置(RO[逆浸透膜]およびED[電気透析])を使用し、福島第一原子力発電所2号機使用済燃料プールの塩分除去を実施する予定です。

(開始時期については工程を調整中)

なお、今回使用した放射性物質除去装置は、今後、福島第一原子力発電所3号機使用済燃料プールの放射性物質除去で使用することを予定しており、他作業との調整が整い次第、実施することとしています。

